



社会福祉法人 報恩積善会の公益的な取り組み

インタビュー 代表者：前田 泰史氏

津島学区情報

世帯数

5,611世帯

人口

11,432人

高齢化率

19.7%

活動のきっかけ

報恩積善会は創立110年を迎え、地域と共に地域に根差した運営を行ってきました。平成6年には本館改築に伴い津島学区を中心に一人暮らしの高齢者へ給食サービスを開始、食堂や地域交流スペースの貸し出し等地域資源として、地域に開かれた施設として誰もが和やかに生活できる社会の実現を目指しています。

地域コミュニティが希薄している中、法人理念である「和」のもと地域に貢献できること、また入所者の方も地域の一員として社会に貢献できることがたくさんあると考え様々な支え合いの取り組みを始めました。

活動内容

【ほほえみカフェ(認知症・地域交流カフェ)】

「認知症と共に生きる」認知症の方やご家族、そして住民の方と一緒に過ごしやすい地域づくりを目指して、認知症啓発の他、気軽に話ができる場をつくっています。認知症についての話やボランティアさんによるハーモニカ演奏等毎回違ったプログラムを行っています。

- 参加対象者：子供から大人まで誰でも参加可能
- 日時：第4金曜日13:00～14:30
- 参加費：100円（お茶代）



【ふれあい講座】

「地域を元気に！」居場所づくりと共に体も心も元気になる講座を開催しています。お灸体験や認知症サポーター養成講座等テーマも様々です。高齢者

の方にバランスの良い食事提供と外出する機会の確保のため、ふれあい講座3回参加で昼食無料券として利用できる「メンバーズカード」を発行しており、講座へ参加する楽しみの一つとなっています。（昼食は事前予約が必要です）

- 参加対象者：子供から大人まで誰でも参加可能
- 日時：2か月に1回（基本的には偶数月）
平日午前又は午後1時間程度
- 参加費：100円（お茶菓子代）※別途実費

【配食・会食サービス】

平成6年より津島学区の高齢者を対象に実施。配食サービスは必ず直接手渡しすることで安否確認の役割も担っています。会食サービスは施設で昼食をバイキング形式で食事していただけます。食事だけでなく色んな方と交流する機会にもなり、友人ができた方、栄養バランスの取れた食事を定期的にとることにより糖尿病が改善した方もいらっしゃいます。

- 利用日時：（配食）月・水・金の昼食
11:30～12:30（年末年始は休み）
（会食）毎日 昼食12:00～13:00
- 費用：（配食）450円/食、（会食）昼食400円/食
- 利用対象：（配食）津島学区の高齢者中心
（会食）地域の高齢者中心にどなたでも可能
- 利用方法：（配食）申込後に事前訪問してから
（会食）事前に電話等にて申込

【私にもできるSDGs！エコバックでレジ袋削減！】

身近にできるエコ活動！レジ袋の代わりにエコバックを使いませんか？施設入所者の方が施設で見終えた新聞紙を使ってエコバックを制作しています。京山学区内を中心とした店舗へ



置かせて頂き、地域でできるSDGs活動を実施しています。

- エコバック設置場所：報恩積善会、京山学区のコンビニやパン屋等店舗、近隣地域の薬局等

【つしまみんな食堂（地域食堂・子ども食堂）】

「みんなでご飯をつくろう！食べよう！つながろう！」。つしまみんな食堂は地域の方が運営しており、報恩積善会も協働しています。参加した方にちょっとした役割のある楽しい場所を一緒に創りましょう。現在は、京山公民館で開催しておりますが、食を通じて食育・体験・多世代交流の場となるよう報恩積善会も広報活動や物資支援等一緒に活動しています。感染状況により報恩積善会の施設スペースでの開催も検討中です。



- 日時：毎月第4日曜日 他
- 場所：京山公民館、報恩積善会 等
- 対象者：どなたでも参加可能
- 参加費：高校生以上300円、中学生以下200円

【マイクラフト】

入所者のやりがいやリハビリ、社会参加のため、寄付でいただいたタオルを雑巾サイズに縫い、オリジナルの刺繍を入れてクリーンクロス（布巾）を製作しています。製作したものを京山学区の保育園、幼稚園、小学校へ寄贈しています。メンバーの入れ替わりと共に地域住民の方も参加し交流の場にもなっています。子どもたちの喜ぶ姿を見ることで意欲とやりがいを感じています。またマスク作り楽しみながら幅広い活動を行っています。

- 活動日時：不定期 13:00～16:00頃
- 場所：養護老人ホーム報恩積善会 内
- ご興味のある方はお問合せ下さい

【届けよう！支え合いの力！フードドライブ！】

津島生活学校の皆さんが毎月京山公民館で行っているフードドライブで集まった物品を受け取り、地域のこども食堂や居場所団体へ渡す中間支援を実施しています。地域でつながり作りと共に食品ロス削減につながる活動にも取り組んでいます。

- 日時：月1回程度
- 場所：京山公民館

■工夫していること

基本的な感染対策を確認しながら実施しています。取り組みにより施設内での活動場所を検討。また施設外の取り組みや入所者の方が施設にいても地域に貢献できるエコバックやマスク作り等を行いながら、施設と地域をつなげるために京山公民館を中心に行われているESDやSDGsの活動に積極的に参加しています。

■構成スタッフ

施設職員・近隣住民・学生ボランティア・企業

■課題

感染状況により取り組みができないことが多くありますが、人数の制限やその時にできる範囲での活動を無理なく続けています。参加者が固定化している活動があり、色々な方に参加していただけるよう個々にあった活動を作る等しています。ボランティアの参加等少なくなってきているので人材の確保も課題です。

■今後取り組もうとする方に伝えたいこと

入所者も地域住民も施設職員も、活動に関わる方にとって「楽しく」できる活動を大切にしています。活動を始めることと共に、継続するために「地域のため、誰かのため」の中に「自分」も加えて主体的になることです。地域に様々な支え合いの活動があることで、入所者の方も支えらえる側としてだけでなく、支える側として主体的に活動へ参加できる機会にもつながるのではないのでしょうか。「無理せず・楽しく・困ったから助けて」といえる関係づくりに、まずは自分達ができることを実践しています！

